

第1回四日市市文化財保存活用地域計画策定協議会 議事録概要

日時：令和2年8月11日（火）14:00～16:00

会場：四日市市役所教育委員会室

【出席者】

鬼頭浩文委員、伊藤隆夫委員、朝倉由希委員（OL）、大井隆弘委員（OL）、瀬河英雄委員、桐生定巳委員、久志本まどか委員、岡本登喜子委員、秋田和伸委員、中森ゆき子委員、中野千幸委員、小松威仁委員、松岡俊樹委員

三重県教育委員会社会教育・文化財保護課 伊藤裕偉・西村

（事務局）社会教育・文化財課 伊藤課長、葛山課長補佐、清水、石毛

（受託業者）株式会社 TIT 池田（OL）、田中（OL）

※（OL）はオンライン参加

【傍聴者】 1名

1. 開会（事務局）

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本会議は委員14名中13名参加で過半数に達しており、四日市市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱第6条第2項の規定により会議が成立していることをご報告いたします。朝倉委員、大井委員はweb参加になります。林委員は欠席となります。この会議は公開としていますが、傍聴者は今のところいません（会議途中から1名傍聴者あり）。会議録を作成するため録音をさせていただきますことをご了承ください。また、地域計画作成のコンサルタントとして、(株)TITがwebで参加しています。

2. 副教育長挨拶

こんにちは。本日は暑い中、またご多忙のなか、第1回四日市市文化財保存活用地域計画策定協議会に参加いただきありがとうございます。みなさまには、本協議会の委員を快くお引き受けいただきありがとうございます。地域計画の策定は、今年度から令和3年度までの2か年で予定しております。委員のみなさまの立場からご指導をいただきたくよろしくお願いいたします。

本市の文化財におきましては、久留倍官衙遺跡では久留倍遺跡まつりを行い、市内外から多くの方に来ていただいています。国指定天然記念物の御池沼沢植物群落や、市指定の旧四郷村役場でも定期的にイベントを開催して、参加いただいている方の満足度はかなり高いものとなっています。市といたしましては、文化財を多くの方に知ってもらい、活用により保存につながりますよう取り組んできたところでございます。

地域計画の策定目的は、一部の文化財だけを取り上げるのではなく、市内のいたるところ

ろにある文化財、歴史文化遺産、言い換えれば、地域の宝を、価値を再認識し後世に継承していこうというものでございます。さらには地域住民の方々が自発的に保存活用に取り組んでいただくことも目的の一つになっています。

文化財の保存と活用は、地域の人同士の関係が希薄化する社会情勢の中でも、人のつながりが保たれ地域の活性化やよりよいまちづくりに寄与するものです。委員のみなさまには、本市の文化財の状況をご覧いただき、市や各地域の歴史文化の特徴がどのようなものなのか、そして活かすためにはどのような方法があるのか、本計画を策定していく過程で積極的なご意見を賜りたくどうぞよろしくお願いいたします。

3. 自己紹介

各委員より自己紹介

4. 会長・副会長の選任

委員：事務局の案をご提示いただければと思う。

事務局：会長を鬼頭浩文委員に、副会長を伊藤隆夫委員にお願いできればと考えている。

全員：異議なし。

5. 協議事項

(1) 文化財保存活用地域計画について

(2) 地域計画策定スケジュールについて

(3) 地域アンケート、ヒアリングについて

以上、事務局より資料説明

会長：アンケート・ヒアリングについて、具体的に議論を深めていきたい。発掘して終わりでなく、活用する。1回で終わりでなく、継続して発見していく仕組みづくりも大事。担い手は行政というよりも市民のみなさんになる。

委員：設問1-2の説明で、「動物」を入れると良い。海岸植物も貴重なものがある。また、地区だけでなく、専門に活動している団体などにもヒアリングしなければ、自然環境に関するお宝があがってこない。

会長：カッコの例示に、動物も追加する。対象が28地区となっているが、それ以外に文化財に詳しい団体や言及されている方へのヒアリングも是非の方が良い。

委員：もう少し具体的に例を書いてもらわないとわかりづらい。お祭りなどがあるが、自分たちのところで特別の行事はあるかなあ、普通だから書かなくても良い、となる。また、市史などで、指定でなくてもいろいろ載っている。それらの整理は始めているのか。

事務局：市史を中心に整理を始めている。市史が発行された時にまだ指定されてなかったものもある。それ以外にも県や国の調査報告書を整理している。

会長：博物館の資料、地域の資料、自費出版のものも含めて整理をお願いしたい。1-1で

イメージがわかりやすい例示をということだが、おそらくアンケートの時点でリストとして具体的にあがってくると思う。

副会長：地区としてではなく、個人、有志のものはたくさんある。それをどう挙げていくかは課題。「ハッチョウトンボ」「ホトケドジョウ」など、関係した人しか知らないものもある。アンケート記入者が3人だけだと分からないこともあると思う。

会長：計画を発信していくことで、もっとあると広がり、情報が集まってくる計画にするのが大事。いまでも放置され、朽ち果てていくものがあると思う。今回の計画の中だけでなく、集め続けて欲しい。

事務局：各地区で作成している冊子もある。事務局が持っている限りのもので作業をしている。地域計画の策定状況を、ニュースとして市のホームページにのせたりする。ホームページでもお宝募集を呼びかけができると思う。説明会でも、資料を出して欲しいなどということもお願いしていきたい。

委員：設問Ⅰ－Ⅱで、風景と自然環境とあるが、実際あげるのは難しい。具体的に例をあげる必要がある。里山風景というと水辺、山、耕作地、人の住んでいる状態が思い浮かぶが、太陽光パネルの設置などでひどい状況のところもある。水沢の茶畑、和無田のマンボ、ヒメコウホネが生えている池などぜひ残していきたい。

会長：説明会では、写真とかを提示しながら、わかりやすく説明してもらいたい。

県教委：明治以降の近代化遺産とか、港や工場景観なども四日市の特徴。これらを「お宝」とするかどうかは四日市市の選択になる。アンケートも発問を「歴史のある」とすると限定されてしまい、新しいものが落ちてしまうと思う。これらについても例示してはどうか。

会長：アンケートに「歴史のある」とあるが、これに限定されるものでないと思う。ここ数年・10年のものも、10年も経てば大切な文化遺産になっていくので、それを発掘していくことも大事だ。シティプロモーションで作っているものも良いと思う。コンビナートも、歴史的な建造物になりつつあると思う。市の売りとして、コンビナートの夜景は観光客を集めているので、入れていければと思う。

委員：活用に関して計画をつくることは取組みを前進させていくことだと思う。アンケートでは、問いに答えてもらうため活用の具体的なイメージを伝えていくと良いかと思う。

会長：おそらく文化財に対する思い入れが強い方は保存への思いが大きいですが、活用になるとアイデアが柔軟にでてこないかもしれない。若者などにも聞いてみるのも大事かと思う。昨日のニュースで、ライトアップの取り組みをネットで発信するという取り組みが紹介されていた。そういう発想は、ヒアリングだけでなく、補充する必要がある。

事務局：市として、先に具体例をあげるのは難しい。地域から意見をもらって、文化財を把握したうえで、それをどう保存して活用していくのかを検討していく。四郷地区では市指定文化財となっている旧役場を中心に、周囲の日野神社、神楽酒造、顕正寺など文化財を職員が説明しながらウォーキングするイベントを行っている。説明会でもこのよう

な活用を行っていることを紹介したい。

会長：他の地域での活用事例を集めておくと良いと思う。あまり人が集まりすぎても困るが、市民が大切にすることを醸成するのが大事で、市民と一緒にできるものを考えていく。

県教委：地域計画については、具体的な事業計画を示すことが大事だと文化庁からも指摘されている。市で計画があればそれを示した方がわかりやすい。

事務局：計画を作成しながら事業を考え、担い手を作っていけたらと思う。現在、市でやっていることをあげるのが現実的と思う。

会長：以前にまちかど博物館があった。それを再開させるというのもあると思う。この事業は県の管轄か。

県教委：県の環境生活部が行っている。

委員：計画はアンケートをもとにまとめられるのか？

会長：アンケートだけでなく、文献を調査するのとアンケートで発掘するものでまとめる。

委員：計画が認定されれば、計画にしたがった事業が具体的に始まるということか？それが市の全部なのか、ある地区に限定されるのか？

事務局：これから、関連文化財群を設定して、区域を設定していくことになる。

県教委：配布資料にある「計画の構成」は、当初の文化庁指針をもとに作成されているものだが、この構成は分かりにくい。最近の全国の地域計画は、序章はこのままだが1章～3章をまとめ書き、4章はまとめられた1～3章に対しどういった課題があるかを整理した上で、それに対しどのような文化財の措置を行うかが書かれており、非常にわかりやすくまとめられている。参考にして欲しい。

会長：他の地域の計画を参考にしながら、みなさんの意見を聞きながらオリジナルのものを作っていけたらと思う。概要版についても検討していきたいと思う。

委員：アンケートの対象となる市内28地区の3人はだいたい把握されているのか？説明会の後で決定されるのか？

事務局：これから、各地区市民センターを中心にあげてもらおう。連合自治会に推薦してもらえよう話をしてもらおうことは決まっていて、センターの館長会でも議題にかける。

委員：設問Ⅲ－1効果の聞き方がわかりにくい。現在もたらしめている効果なのか。期待されることを聞きたいのか。

事務局：期待される効果としてわかるよう明確にする。

委員：歴史文化に関心のある人だけでなく、もう少し広げた方が良い。小浜若狭の事例の説明があったが、小浜市は元々「食のまちづくり」というコンセプトがあった。「食」をテーマとすることで、住民を巻き込み、興味がなかった人が気付くプロセスがあった。アンケートは、これまで関係してなかった人に関係してもらおうきっかけになると良いと思う。

会長：「食」のようなテーマがあればわかりやすい。実際に計画をつくるときに、軸になるものを作っていく必要がある。

委員：四日市市の場合、鯨船などまとまりのあるものがあるが、市域も広く、どういう方向でテーマをやっていくのか分からない。

事務局：これから幅広く文化財を集めてテーマを設定していく。パンフレットでは文化財を整理して紹介しているが、先に示してしまうと、引きずられてしまうのであえてあげていない。説明会では例示はできると思う。

会長：四日市市は面積・人口も大きいので、テーマも一つに決める必要はなくて、大きいくくりがインパクトをもってうまくくれれば、いくつもあって良いと思う。

委員：四日市市でも今まで他に景観計画として、アンケートを行っていることもあるので、整理してから内容を決定するのが良い。指定・登録の文化財に対してどのような意識を持っているのか活用しているのか聞き、さらに未指定のものも聞く2段階にしたい。

会長：新型コロナウイルス感染防止のため、何度も接触してヒアリングするのは難しいので、聞きたいことをきちんと網羅し、また、アンケートのやり方も上手に情報を吸いあげられるようしっかり考えてほしい。

TIT：既に指定されている文化財に対して、地域がどう考えているのかというのは、計画作成にあたって重要なことかと思う。アンケートに反映させたいと思う。名古屋方面のネットワークなども活用し、また、ヒアリングも工夫して行っていきたい。

6. その他

会長：2回目以降の会議はどうするか。Zoomで会議をすることに抵抗あるかもしれないが、慣れるとかえって意見がしやすいと思う。

事務局：今回は会場とZoomを使っての会議を試みたが、2回目以降は全員がweb会議を検討し、いかに効率よく正確にやるか考えていきたい。ご協力をお願いしたい。

会長：文化財に関連する方は高齢の方も多いため、ヒアリングなど感染対策を徹底して欲しい。

7. 閉会

事務局：アンケート内容も修正していきたい。会議の記録用に写真を撮影した。ご了承をお願いしたい。2回目は年明けになるが、その時までには地域に入っていくことになるので、適宜、状況を報告する。ご意見あれば、いつでも教えていただければと思う。

以上